

平成 29 年度  
看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

出題の意図・解答のポイント

平成 28 年（2016 年）9 月  
高知県立大学大学院

## 小論文

問 世界科学会議 (1999) において、21 世紀の科学の責務として、「知識の科学」に加えて、「平和のための科学」、「開発のための科学」、「社会における、社会のための科学」が新しく加えられました。看護の立場で科学のあり方と科学の責務について、あなたの考えを論述してください。

(200 点)

### <出題の意図>

この設問を通して、看護学の立場で科学のあり方と科学の責務についての分析力をみる。また、論述を通して、理論的思考力、独創性、視野の広さ、看護の志向性をみる。

### <解答のポイント>

看護学の立場で科学のあり方と科学の責務について分析し、論理的に自分の考えが述べられていること。

## 英 語

### I

#### <出題の意図>

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための基礎的な英文読解力をみる。

#### <解答のポイント>

問 1 以下の内容を含んでいること。

- ・言語の主要な役割は、発見と記述である
- ・言語は、現実を伝えるよりもより意味を持っており、現実を組み立てるための道具である
- ・異なる現実を明確にする
- ・異なる方法で、経験を類型化する
- ・考え方や認識の仕方に関する慣習についていくつかのパターンを提供する

など

問 2 提示された英文をふまえ、自らの考えを述べていること。

### II

#### <出題の意図>

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための基礎的な英文読解力をみる。

#### <解答のポイント>

問 1 以下の内容を含んでいること。

- ・知識発展のための idea の源として他の学問領域やパラダイムに依存し続けると、その学問領域の基盤となる自律性や責任を果たすことができない
- ・医学的モデルは、徴候、症状、病気と観察に関連する観察を可能にした
- ・社会学的枠組みは、集団の性質と社会秩序のパターンに焦点を当てた
- ・これらの他分野は、健康や病気への反応に関する知識の発達には十分対応していない

など

問 2 提示された英文をふまえ、自らの考えを述べていること。